

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
事業実施報告書


- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【宮城県・大崎市】

学校名【大崎市立鳴子小学校】

1 実践テーマ	I・II <input checked="" type="checkbox"/> III・IV <input checked="" type="checkbox"/> V（複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	4年生7名、5年生8名、6年生14名、計29名
3 展開の形式	<p>（1）学校における活動</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ① 教科名（総合的な学習の時間）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>（2）地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 （ねらい）	<p>○ パラリンピック種目のボッチャの体験を通して、スポーツを通じたインクルーシブの視点を育む。</p> <p>○ オリンピックとパラリンピックに対する興味・関心を高め、生涯を通じてスポーツや体を動かすことに親しむ。</p>
5 取組内容	<p>〈事前学習〉</p> <p>○ 「I'm POSSIBLE」を活用して、パラリンピックについての理解を深める。</p> <p>○ 過去のパラリンピック競技の映像を鑑賞する。</p> <p>〈講話・体験会〉</p> <p>○ 宮城県障害者スポーツ協会の加藤秀太さんと菅野航さんから障害者スポーツやボッチャについて教わる。</p> <p>○ ボッチャを実際に体験する。</p> <p>〈事後学習〉</p> <p>○ 講話・体験会について振り返り、感想・お礼の手紙を書く。</p>



	
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童は障害者スポーツについての知識はほとんど持っていなかった。事前学習で「I'm POSSIBLE」を見たり、過去のパラリンピックの映像等を通して障害者スポーツについての学習をしたりする中で、障害者についての理解を深め、そのスポーツの面白さや奥深さにも気づいていった。さらに、本活動の同時期に東京パラリンピックが始まり、児童の関心が高まる中で、杉村英孝選手が見事に金メダルを獲得した。その手に汗握る白熱した試合展開は、児童の心に深く刻み込まれ、児童の意欲や関心をさらに掻き立てるものとなった。 ○ 実施後に感想や指導していただいた方にお礼の手紙を書いた。その内容を見ると、この活動を通して、障害者スポーツへの理解が深まったこと、特にボッチャという競技への関心が高まっていることが見て取れた。また、障害者への理解も深まり、障害者も健常者もお年寄りもみんなで楽しみたいという感想も見られた。また、アンケートも実施したが、どの項目についてもほとんどの児童がオリンピック・パラリンピックへの興味・関心が高まっていることが分かった。
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宮城県障害者スポーツ協会の協力を得て事業を実施した。本校は郊外の山間部の小規模校で、コミュニケーション能力を育む機会を求めていた。事前に、本校児童の特性などを説明し、どのような指導がふさわしいかを綿密に打ち合わせして活動に臨んだ。児童の実態や本校のねらいを的確に汲み取っていただき、映像の活用、場の設定、指導の展開方法等が大変工夫されていた。そのため、児童は、講師と打ち解け、障害者スポーツやボッチャ競技に自然に興味・関心をもち、楽しく真剣に活動をすることができた。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症予防のため、当初の計画の縮小を余儀なくされた。来年度以降の状況は分からないが、感染症防止も考慮しながら計画を立てる必要がある。 ○ キャリア教育や志教育、福祉教育、運動能力向上等と関わらせながら、オリンピックやパラリンピックを各教科、道徳、総合的な学習の年間指導計画の中に位置付けていくと教育効果が上がるのではないかと考える。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の総合的な学習の時間の中に福祉教育を位置付けているので、福祉教育の年間指導計画の中に「障害者スポーツを通じた共生社会の構築」についての学習を組み入れていく予定である。 ○ ボッチャ競技用具を購入したので、体育の時間の中でも活用し、障害者スポーツの楽しさも各学年で体験させていく予定である。